

# 国民健康保険制度、少子高齢化対策を学ぶ

平成21年度国民健康保険事業運営研修会



府と本会共催の平成21年度国保事業運営研修会は、11月11日（水）、京都市上京区のルビノ京都堀川で開かれ、30保険者から約70人が出席した。



本会片田副理事長の開会挨拶のあと、厚生労働省保険局国民健康保険課の森新一郎課長補佐が「国民健康保険を巡る現状」と題して講演を行った。

医療保険制度を取り巻く状況から社会保障全体にかかわる問題を提示した。近年の医療保険制度改革における医療保険分野、特に国民健康保険制度の見直しについて、また、三大臣合意の国保基盤強化策の見直しに当たっての現状と課題について説明した。

2つ目の講演は、前山口県柳井市長で国民健康保険中央会顧問の河内山哲朗氏が「政権交代後の医療制度改革の行方」と題して行った。

日本の医療制度を海外からの客観的視点から解説し、少子高齢化となっていく中で、国民健康保険制度を維持していくために必要課題を示した。また、実例を参考にコミュニティビジネスの社会貢献の可能性及びニーズについて説明した。



参加者からは「実例を挙げての説明は分かりやすく、今後の医療制度について理解を深めた。」等の感想が寄せられた。